

ご先祖様を探す

～最も身近な歴史探訪～

2010年7月18日

野田古文書仲間メンバー

大澤一秋

電子メール: marudai.ohsawa@nifty.com

Webサイト: <http://homepage2.nifty.com/babo/kakeizu.htm>

今日の内容

1. はじめに
2. ご先祖様探しを始めた動機
3. ご先祖様探しの流れ
4. 調査の方法と資料
5. 何が分かったか？

1. はじめに

- 旧常陸国真壁郡八町村に住んでいたご先祖様を1997年から調べている。
- 何百年も続いた名家旧家では無い。
- 家に古文書は無い。
- 先祖は職人もしくは零細商人。

茨城県結城郡八千代町八町全景

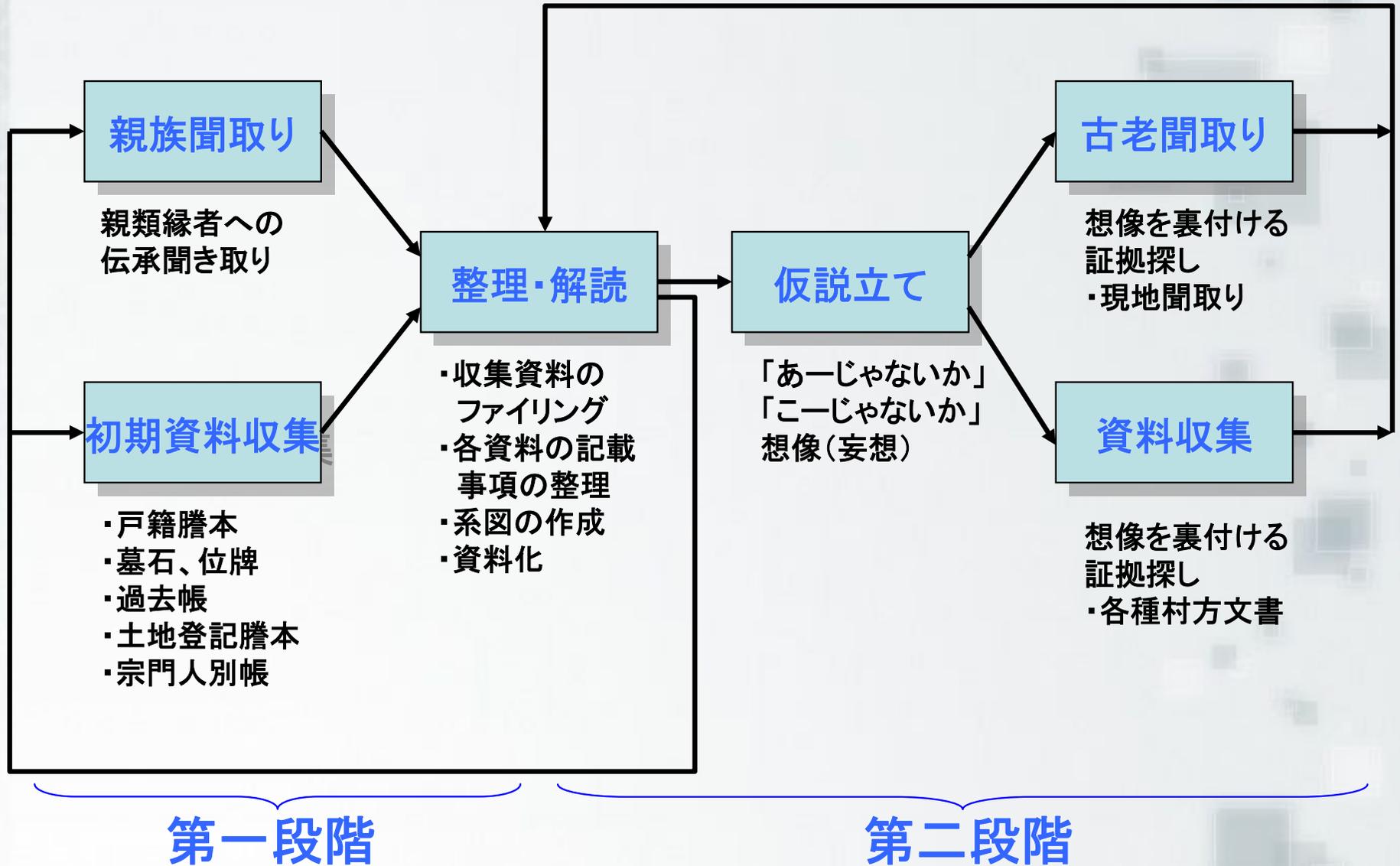


昭和24年米軍撮影
(国土地理院地図情報センター蔵)

2. ご先祖様探しを始めた動機

- 父が購入した書籍
- 曾祖父の苦労話
- 長男誕生

3. ご先祖様探しの流れ





大澤家のご先祖探し

=名も無き庶民の先祖探しへの挑戦=
Last Update 2010/6/16

あなたは、1998/1/14以後 延べ **10065559** 人目の訪問者です。

【先祖探しの軌跡】

1997年

- [何故先祖探し？](#)
- [先祖探しのルーツ](#)
- [我が家の先祖は土族？](#)
- [出身地は何処？](#)
- [引継](#)
- [父の祖は養子？](#)
- [空間と時間](#)

1998年

- [当家の墓が築屋！](#)
- [新たな墓が築屋！](#)

1999年

- [大澤様の土族](#)

2000年

- [もう一人の大澤様](#)
- [墓石に刻まれた大津](#)
- [高祖父使用印鑑判読](#)

2001年

- [印鑑判読の2](#)
- [子孫からの連絡](#)
- [我が家のルーツの地を発見？](#)
- [加藤市における大津姓の分布](#)

2002年

- [もう一つの可能性](#)
 - [先祖の職業は？](#)
 - [祖父が作った万石を発見](#)
- 2010/5/16

2003年

- [移住の理由](#)
- [返祖人 大澤玄五郎](#)

2004年

- [墓石の謎](#)
- [3枚の墓石の伝説](#)

2009年

- [成果の配布](#)
- [高祖が判読](#)
- [返祖した5郎](#)

2010年

- [祖居能登博物館玄五郎](#)
- [以後続々...](#)

【大澤姓の分布調査】

- [苗字人沢と人澤の全国分布図](#)
- [苗字人沢と人澤の市町村別分布図](#)

【管理人挨拶】 **2010/5/17** 追記

このホームページの管理人の大澤一秋(千葉県野田市在住)は、長男誕生を切欠に、我が子の存在、自分の存在も色々な時代を生きた「先祖様のお話と深く感じるようになりました。」とは言え、我が家に代々伝わる家系図がある訳でもなく、ましては、歴史に誇る有名な子孫がなんでも事關した事は無い名も無き庶民で、先祖探しにしている我が家ですので、先祖を調べるなんて無稽かつ無理な事かも知れませんが、しかし、少しでも先祖様の事跡を調べ、子孫に残したいと考えています。



私の先祖調査も、はじめてから13年あまりの歳月が経過しました。私の先祖は、江戸時代の終わりに江戸職人(もしくは楽師の商人)であり、土族に買われた産業を生業とする百姓ではなかったためか、江戸時代の終わりに明治期前後を境に、その足跡を追うことが非常に難しい状態が、13年間のうちのここ10年間は続いています。

私の先祖のようなケースでは、自家に先祖から伝わる古文書が無い限り、先祖の足跡を追う事は不可能に近いものがあると思います。私の家には、先祖から伝わる古文書は全くありません。あるのは、若手の古い伝説のみです。しかし、大変幸運なことに、先祖が江戸時代の終わりに大正時代の初めまで住んでいた、旧年陸田町八町村の江戸時代の村役人か明治時代の里正を務めた旧家の、先祖が大変横柄な方で、多くの古文書が伝えられたこと、さらに、現在の行政区である茨城県結城郡八千代町の古文書を兼ねた文化財保存意識が高かったことにより、多くの古文書が閲覧でき、非常に細い糸ではありますが先祖の足跡を追うことが出来る事ができました。2010年5月17日 大澤一秋

我が家の家系図 **2010/6/16** [古い墓石から推定した更に前代の家図](#)

[八町村人澤家先祖に傳のある土地をGoogle Mapにプロットしました。](#)
[こちらをクリック。](#)

【お知らせ】 **2010/6/16**

2010年7月18日(日曜日) 13:30から15:30
野田市郷土博物館 寺了庵講堂 芝英文化講座にて
「ご先祖様を探す ～暮らしと歴史を探訪～」と題して拙い話をさせて頂く事になりました。
(同博物館への事前申し込み)

【お申し込み】

先祖を調べる中で、数々の異なるルーツを持つであろう日本全国の大津姓(大沢姓)の市町村別分布を調べると共に、是非、全国の大澤さんが使用する家紋との関係も分析したいと思っています。

そこで、アクセス頂いた、大澤さんがお使いの家紋等の情報をお寄せ頂ければと思います。(全国の大澤さんからお寄せ頂いた家紋はこちら)

ご協力頂ける方は、是非以下のアンケートにお答え頂けます様お願い致します。

【アンケートフォーム】

1. あなたのオオサワはどちら？(読みについては、関西地域の方から「おおさわ」と濁ると聞き覚えました)

- 1. 1 表記(大澤(漢字))
- 1. 2 よみ(おおさわ(漢字))

WEBサイトでの公開

4. 調査の方法と資料

- 調査方針
- 戸籍謄本調査
- 墓石・位牌・過去帳調査
- 村方文書調査
- 土地登記簿調査
- その他の調査

調査方針

➤ 遡り方針の選択

- 父系のみ限定して遡って行く
- 父系母系全てを遡って行く ○

➤ 記録方針の選択

- 事実を包み隠さず記録する ○
- マイナス事項は記録しない
- 事実と推測を明確に！ ○
- ごちゃ混ぜ ×

戸籍謄本調査(1/3)

➤ 戸籍の種類①

- 昭和23年式戸籍
 - ◆ 家単位から夫婦単位に変更
 - ◆ さらに現在は電子化
- 大正4年式戸籍
- 明治31年式戸籍
- 明治19年式戸籍
- 明治5年式戸籍(壬申戸籍)
 - ◆ 差別記載が問題となり昭和43年以來法務局で封印して保管。閲覧不可能。

戸籍謄本調査(2/3)

➤ 戸籍の種類②

- 現行戸籍

- ◆ 戸籍に記載された人全員が除かれるまで有効

- 改製原戸籍

- ◆ 法改正により戸籍の様式が変わり作り変える元になった旧法での戸籍

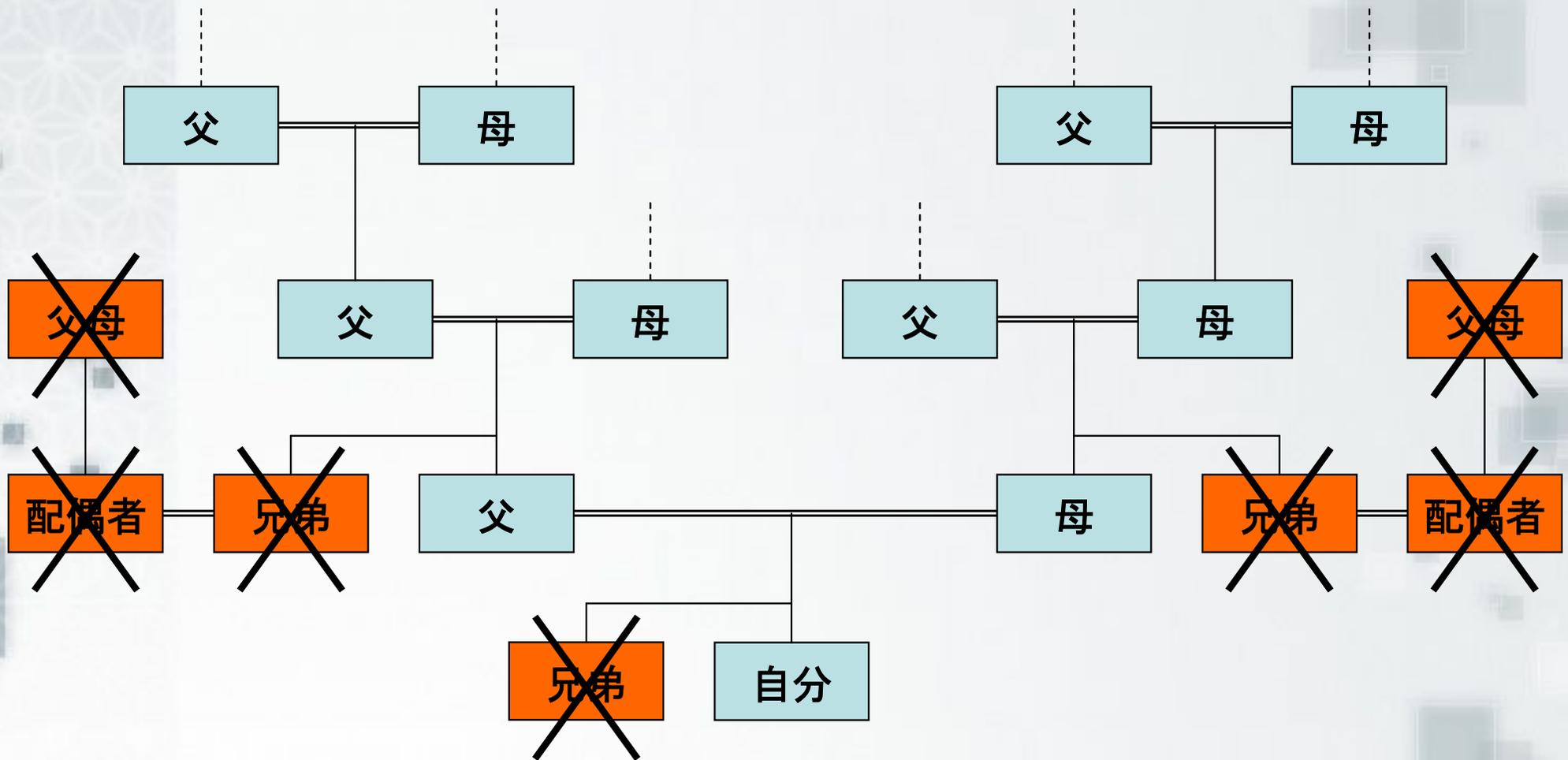
- 除籍

- ◆ 戸籍に記載された人全員が除かれ、除籍簿に移されたもの

戸籍謄本調査(3/3)

- 至急！請求できる戸籍謄本を全て取得
 - 法的には除籍簿は80年程度で廃棄可能
 - 戸籍事務のコンピュータ化で廃棄事例あり
 - 東京浅草などは震災、戦災で一部焼失
 - 明治のご先祖様も分からなくなる事態に
- 請求者の直系先祖を取得可能
 - 自分の父母、その父母、さらにその父母と
 - 親類を巻き込んで取得範囲を拡大
 - 過剰な個人情報保護で拒まれる場合あり

自分から上方向に辿れる者の戸籍謄本を取得できる



墓石・位牌・過去帳調査

➤ 墓石・位牌

- 享年、没年、続柄から関係を推定
- 古い墓石には俗名なし
 - ◆ 過去帳との照合必要

➤ 過去帳

- 寺の過去帳の閲覧は困難
 - ◆ あちこちの寺が火災になる？
 - ◆ ここにも差別問題が
 - ◆ 粘り強くお願いあるのみ

村方文書調査(1/5)

➤ 市町村史

➤ 資料館、博物館で古文書閲覧

- 文書の保存・保管状況には差がある
 - ◆ 立派な収蔵庫で大量に保管
 - ◆ 目録だけ作成、出版して古文書は返却
 - ◆ 目録すら無い
 - ◆ 積極的に公開・活用
 - ◆ 非公開または制限あり
- とにかくデジカメで撮影
 - ◆ くずし字は直ぐに読めない
 - ◆ 後で気がつく事もある

村方文書調査(2/5)

- 壬申戸籍(明治5年式戸籍)
 - 何故か古文書として旧家にある場合がある
- 戸籍事務文書(戸長役場文書)
 - 壬申戸籍時代の戸籍異動記録簿があった
- 宗門人別帳
 - 寺方、村方
 - 壬申戸籍以前の村民の名

村方文書調査(3/5)

- 検地帳・名寄帳
- 田畑入附帳
 - 小作の者の名や居住地
- 取調書上帳
 - 村内の調べ書き、寺社の調べ書きなど
 - 農間商者、商売人、職人の人数など
- 村絵図
 - 建物の数や位置関係など

村方文書調査(4/5)

➤ 地籍簿

- 地租改正、地券発行のために作成
- 明治初期の土地所有者名など

➤ その他書状

- 代官所への報告など
- 村内で起きた事件など

村方文書調査(5/5)

➤ 証文

- 借金証文や土地売買証

➤ 質物帳・貸金帳・大福帳など

- 人名や居住地、取引関係

➤ 香典帳・祝儀帳

- 人名や居住地、付き合い関係

➤ 書簡(私信)

- ご先祖様が送った手紙があった
- 生活が見える

土地登記簿調査

➤ 現行の土地登記簿

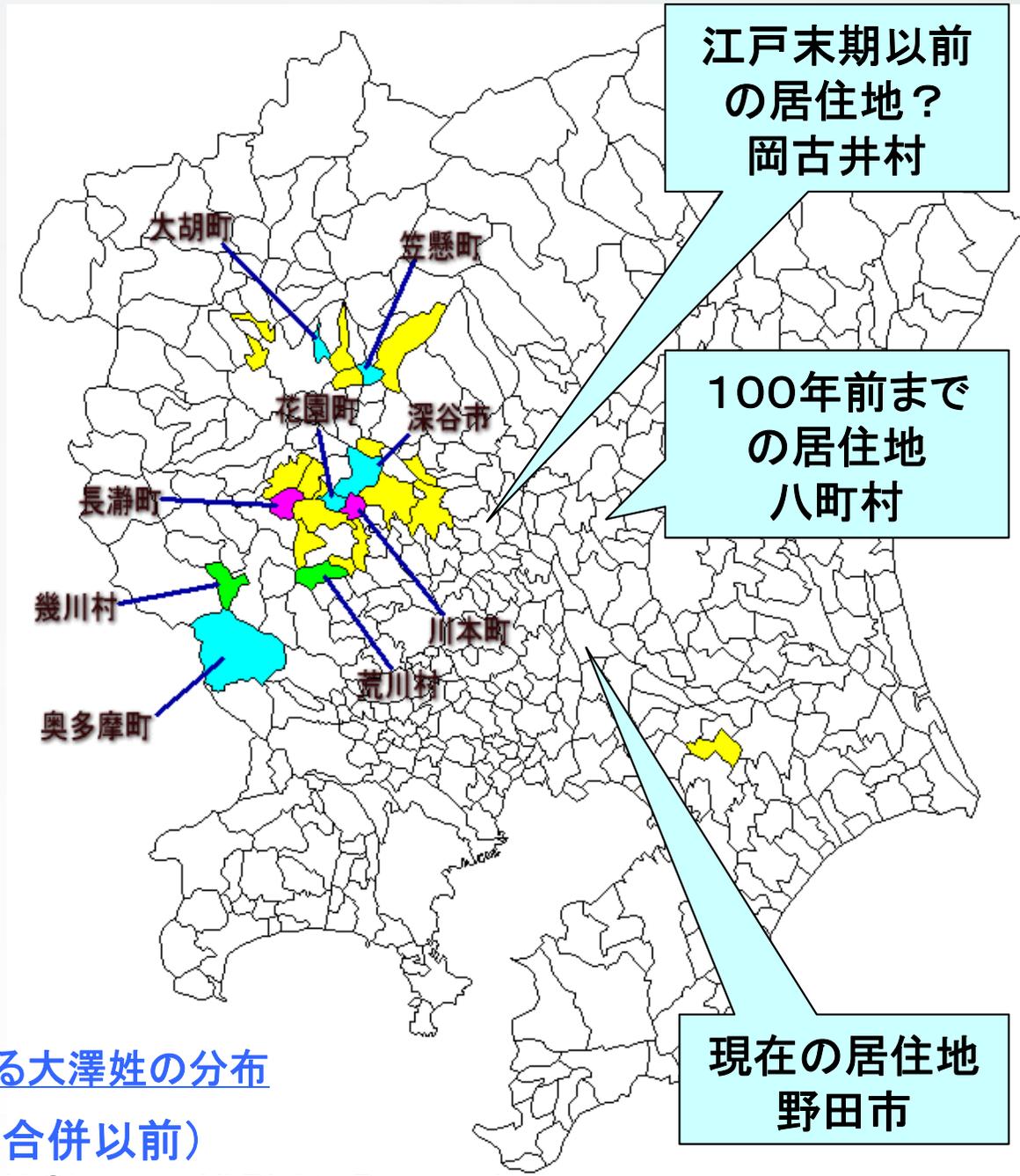
- 閲覧制限なし
- 完全に電子化されてしまい、古い記録は閉鎖簿へ。
- 一定期間経過後廃棄可能

➤ 旧土地台帳

- 明治時代に作成された登記簿。
- 閲覧請求可能。

その他の調査

- 電話帳・住宅地図調査
 - 同姓の把握
 - 家の位置の把握
- 大澤姓の分布調査
 - 電話帳データと国勢調査データを使って市町村毎に軒数率を分析
- 下がり藤紋の分布調査
 - 埼玉西部の墓地の墓石から同紋の分布を分析
- 文献調査
 - 茨城県公民宝典(明治45年の町村別納税額と氏名一覧)
 - 民俗関係文献(柳田國男全集など)
 - 内国勸業博覧会出品目録
 - 明治新政府が殖産興業を目的に上野で開催した全国の産物の博覧会出品目録



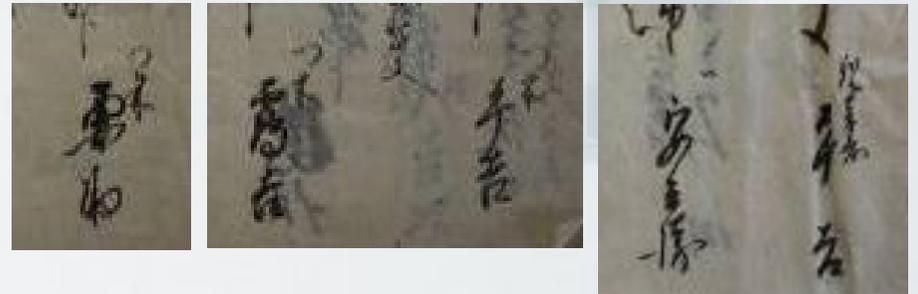
関東における大澤姓の分布
(平成の大合併以前)

5. 何が分かったか？

- 江戸期の境内に居住者や商売人がいた
- 明治期境内は上地され居住者が増えた
- 職人で東北地方まで行商もしていた
- 戸籍に書かれた苗字が誤記だった
- 明治期の親類も同業者だった？
- 明治期の親類が師匠だった？
- 先祖には代々職人の血が流れている？

江戸期の境内に居住者や商売人がいた

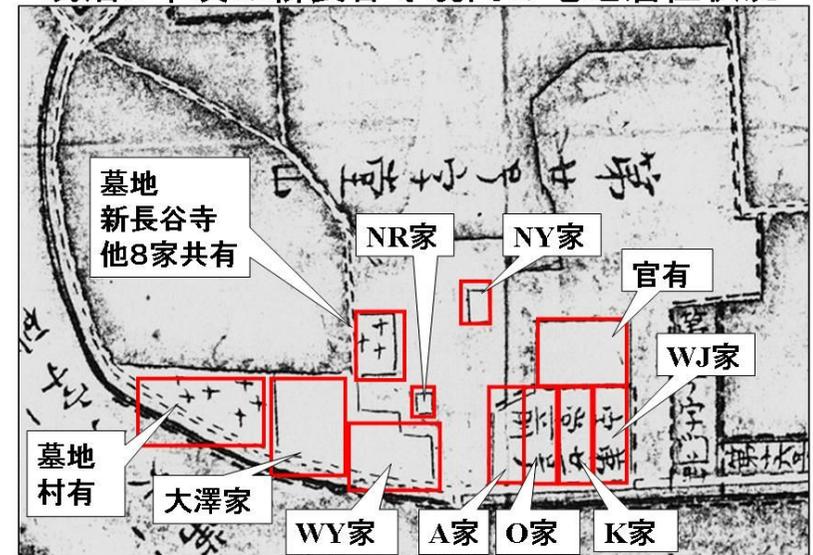
- 朱印地であった境内に住み、寺知行の田畑を小作する者がいた。
- 境町の青木兵庫が拓いた、下総国結城郡兵庫新田村の抱百姓(WY家)が常陸国真壁郡八町村の朱印地の寺境内で農間商いとして旅籠屋を営んでいる者がいた。



明治期境内は上地され居住者が増えた

- 一部境内地は、明治新政府の上地令により上地ののち村民に下げ渡された。
- 大澤家とWY家は、この払い下げで宅地を所有することが出来た。(それまでは、寺地を借地していた)
- 明治9年頃には、旧境内地の居住者は8軒になった。
- この居住者は、商人や職人であった。

明治9年頃の新長谷寺境内の宅地居住状況



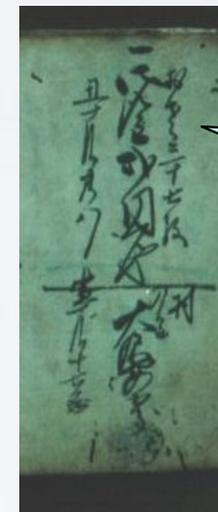
大澤家: 箆屋、機屋 WY家: 旅籠屋

NR家: だんご屋? A家: 酒屋

WJ家: 下駄屋

職人で東北地方まで行商もしていた

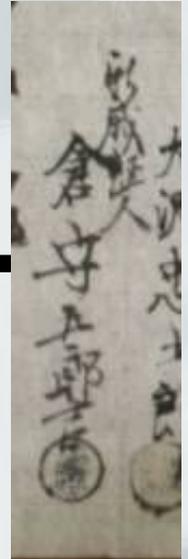
- 聞き取り調査で箴職人であつたらしいと聞いた。
- 福島県川俣町の織物資料館に先祖が製作した箴の実物があつた。
- 質物帳に大量の箴の記載あつた。
- 書簡に仙台地方まで売りに出かけている様子があつた。



年間100枚以上の
新品の箴を質入

戸籍に書かれた苗字に誤記だった

- 地所売渡証書から分かった人名から、早死したと伝承されていた先祖が実は婿養子になっていたことが分かった。
- さらに、現地調査、聞き取り調査で戸籍に書かれた親類の苗字が誤記であることが判明した。



古文書にあった名前から筑西市にあった墓を探し当てた。

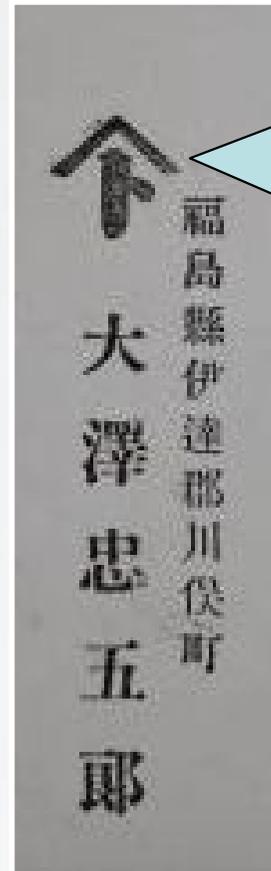
明治期の親類も同業者だった？

- 柳田国男全集にあった茨城県の箴職人の1軒が明治期の大澤家の親戚の可能性が非常に高い。
- 明治期の戸籍から分かる移住の状況から親類の多くが農業を生業としているとは思えなく、同様に職人であったとしか思えない。



明治期の親類が師匠だった？

- ご先祖が使っていた家印を年賀状により知る事が出来た。
- その家印の意味は当家の情報だけでは説明できないが、ある親類が婚姻関係だけではなく、師弟関係もあったと考えると説明できる。



山型にト印の意味
忠五郎の妻の実父
留吉が師匠と考え
られないか？
トは留吉を表す？
(さらに、忠五郎の
弟が留吉の婿養子
となっている。)

先祖には代々職人の血が流れている？

- 曾祖父が大正時代に野田に移住した当時、篩屋だった。
- 祖父も一時、篩屋だった。



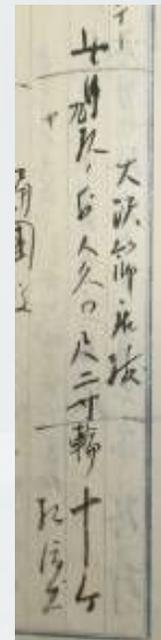
②昭和8年に目吹の農家に祖父が売った唐箕



①篩作りの道具



③丸大印の万石篩 ④大沢篩店の記載





ここから参照資料
(プロジェクタで投影のみ)